

## フィリピン基礎情報

正式国名	: フィリピン共和国
首都	: メトロ・マニラ
時差	: -1時間 ※例: 日本が 12:00 のとき、フィリピンは 11:00
人口	: 約 1 億 572 万人
面積	: 299,404 平方キロメートル (日本の約 8 割) 7,109 の島がある
公用語	: 英語、タガログ語 + 各地方の言語 ※セブはビサヤ語
予防接種	: 不要
宗教	: カトリック 83%、その他のキリスト教 10%、イスラム教 5%、他 2%
通貨	: フィリピンペソ (1ペソ=約 2.5 円)
気候	: 熱帯性気候。年間を通じて暖かく、年平均気温は 26 ~ 27℃



6 ~ 11 月が雨期、12 ~ 5 月が乾期と一応分かっているが、地域によってかなり差があります。服装については、年間を通じて日本の夏の服装で問題ありません。ただし、機内、夜行バス車内、ホテル、デパートなどでは冷房が強く効いていることがあるので、上に羽織るものが必要です。日差しが強いため、サングラスや帽子があると便利です。又、日焼け止めは必須です。

## 留学の定番セブシティ

リゾートで有名且つ空港のあるマクタン島から車で約 30 ~ 45 分。大学や大規模ショッピングモールから日本食材店、ゴルフ場とインフラも整っています。近年はコールセンターにアバカ家具といったこの地方の主要産業がセブに集まっていると同時に日系企業も多く進出しています。フィリピンではマニラに次ぐ第 2 の都市です。今や英語留学の選択肢の一つとして、定番になってきたセブ留学では、他の国では費用がかさむマンツーマンレッスンをリーズナブルに受けられるのが何よりの魅力です。



## フィリピン Q&A

### ●フィリピンで英語はどこまで通じるの？



基本的な日常会話であれば通じますが、英語レベルは相手がどれだけ教育を受けてきたかによって大きく異なります。大学を出ていればネイティブに近いレベルで話せますが、タクシードライバーや露店のスタッフなどは日常のやり取りがなんとかできるレベルです。学校の先生は大学を卒業し英語教授の訓練を受けているので、アメリカ英語に近いネイティブレベルの英語を話します。

### ●フィリピンの治安は大丈夫？

海外での生活においては、スリ、ひったくりといった軽犯罪に遭う確率は日本で生活しているよりも高いものです。他国と同じで注意すべき場所を女性が夜に 1 人で歩かれれば危険も伴いかねません。ただし、最低限のルールさえ守って頂ければ、過度に心配される必要はありません。学校の寮滞在中は念のためお財布を 2 つに分け、多めに現金をいれてあるほうのお財布は必ずスーツケースに入れカギをかけてください。ガードマンがいるフィリピンの語学学校は安全度が高いとはいえ、貴重品の管理はご自身にてしっかりしてください。

### ●お金はどのような持っていけば？



現金は多くとも 10 万円程度までにしておき、中長期の方は国際キャッシュカード (例: 新生銀行など) を持参されると便利です。クレジットカードもあると便利ですが、ローカル色の強い場所 (スーパー含む) ではクレジットカードはほぼ使えませんので、ご注意ください。1 ヶ月のお小遣いは個人差が大きくありますが平均 3 万円です。

### ●体調を崩したらどうすればいい？



セブやマニラといった大都市では病院内に日本語のヘルプデスクを設けているところもありますので、安心して治療を受けられます。皆さまにはご出発前に海外旅行保険にご加入頂きますので、キャッシュレスで治療が受けられます。

## 岡山県立笠岡高等学校

# セブ島短期語学研修

グローバルに活躍できる人への第一歩はここから

世界とつながる

学びを深める

世界を知る

自分を見つめる



## 英語研修 & 現地高校授業体験プログラム

2019 年 7 月 29 日 (月) ~ 8 月 11 日 (日) 14 日間



8days English Lessons & Exchange

